

令和4年度 第2回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月7日（木） 15時00分から16時45分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 パソコン室
- 3 出席委員 熊谷 三郎、菰田 康子、秋山 順一、高柳 久代、神山 美穂
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 細川 恭由（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 太田 秀子（校長）、池谷 公輔（CS担当）、
古橋 佳代（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 協議事項
 - （1） 議長の選出について
 - （2） 教職員意識調査について
 - （3） 今後の学校応援団のねらいと活動について

10 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代

11 会議記録

司会の校長から委員全員が出席し、会議が成立している旨の報告があり、会長より前回は行われた学校応援団による奉仕活動では、教職員・保護者と有意義な交流もできた。より前向きな気持ちで応援団として何ができるか意見を出していただきたいとのあいさつがあった。

続いて、校長から児童の生活面についてあいさつが明るくできている子が多い反面、色々な問題にも直面しているなど近況報告があった。

（1）議長の選出について

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は高柳委員が務める旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）教職員意識調査について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき教職員意識調査について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・「子供たちをどのような子供たちにしたいですか。」という問いについては、しっかりと自分の理想像を記述してもらうよう説明した方が良い。（熊谷委員）
- ・北浜小学校において上級生が下級生の面倒見がいいのは、昔から受け継がれるように感じる。

（秋山委員）

- ・企画委員・児童会など活動を活性化することで、子供たちの成長を促せるのではないかと。
(菰田委員)
- ・目に見えている結果だけではなく、少しでもいい方向に向かうために積み重ねていくことが大切である。(神山委員)
- ・声掛けなどを行い、少しでも子供にいい変化があればいい。自分も勉強させてもらいながら、見守っている。(高柳委員)
- ・できている、できていないで回答を求めても受け止め方に個人差がある為、意味がない。回答は全て記述してもらった方がよい。(委員一同)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 今後の学校応援団のねらいと活動について

議長の指示により、CS担当者より別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・子供も参加できるような大規模な活動からCSのみ参加の小規模活動まで、それぞれの特性を生かし、臨機応変に実施していけばよいのではないかと。(熊谷委員)
- ・草取りは広範囲で一気にやるよりも場所を限定し、何回かに分けて集中的にやる方が効率がよい。(秋山委員)
- ・学校応援団で学校に来ているということが、教職員や子供に分かるように必ず名札など付けて活動した方がよい。(菰田委員)
- ・草取り・プールの清掃では、父と子で参加して下さった方も多く見受けられた。さくら連絡網の登録は、母親が所有するアドレスの場合が多い。父親のアドレスにもさくら連絡網の登録をしてもらうよう働きかけをしたらよいのではないかと。(神山委員)
- ・前回、学校応援団に参加したが自分が参加して良かったものかと、不安に感じてしまった。
(高柳委員)
- ・みんなで見守りをしっかりやっているから子供がそれに答えようとして、あいさつができる子が増えてきている。努力が出てきているのではないかと。(オズバーバー)
- ・さくら連絡網のみ募集をかけると参加者の人数がどのくらい集まっていたのか分からない。募集方法・依頼した教職員との打ち合わせの仕方など、改めてこれから検討していきたい。(CS担当)
- ・学校応援団の活動について、教職員に周知されていなかった。これからは、学校応援団の活動が行われる時は、担当教職員以外にも分かるようにしていきたい。(校長)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年10月6日(木)午後3時00分から北浜小ほっとルーム(会議室)で開催する旨の報告があった。